

I 目的

- 人口減少・少子高齢化社会においても市民ひとりひとりが健康で幸せな生活を送ることができ、伊達市で暮らすことに豊かさとゆとりを実感できるよう、生活の質を高め、健康格差を縮小し、健康寿命の延伸を図る。
- 市民の死因の多くを占め、医療費が高額であり、要介護の要因疾患でもある「生活習慣病」の発症と重症化を予防する。

伊達市国保が保有する健康・医療情報（レセプトデータ・健診データ等）の活用による、効果的・効率的な保健事業の実施

II 市の現状、健康課題

【概要】

- 人口減少・高齢化進行は全国的な傾向だが、伊達市は同規模の保険者に比べ高齢化率が高い。
- 第一次産業（農業など）の割合が同規模・国・県と比較して極めて大きい。
- 被保険者数の減少により総医療費も減少しているが、一人当たりの医療費は増加

【介護・医療】

- 要介護認定者の有病状況は筋・骨格系疾患、精神疾患のほかに、生活習慣病である心疾患、脳疾患等も多い。
- 医療費の多くを循環器系疾患が占めており、内訳は生活習慣病である糖尿病の割合が大きい。
- 生活習慣病患者数は高血圧症の割合が最も高く、次いで脂質異常症、糖尿病となっている。

【特定健診・特定保健指導】

- 健診受診率は同規模・県・国の数値を上回っているが若年層の受診率は低い。
- 血糖の数値は、特にHbA1c有所見者の割合が増加しており、国・県の数値を上回っている。
- 令和4年度特定保健指導終了率は59.2%と高く、同規模・県・国の数値を上回っている。

III 達成すべき目標

中・長期目標（令和6年度～令和11年度）

医療費が高額で、長期入院、人工透析、介護認定の要因疾患である「脳血管疾患」「虚血性心疾患」「糖尿病性腎症」の減少

短期目標（令和6年度）

脳血管疾患等の血管変化における共通リスクとなる「高血圧症」「脂質異常症」「糖尿病」「メタボリックシンドローム」の減少

IV 目標達成のために実施する保健事業

① 特定健診・特定保健指導

メタボリックシンドロームに着目した健康診査の実施、メタボ該当者・予備群への保健指導

② 重症化予防訪問指導

高血圧・高血糖・腎機能低下の認められる対象者への保健師・栄養士による個別訪問指導等

③ 糖尿病性腎症重症化予防～CKD対策事業

糖尿病腎症の進行を防ぎ、人工透析への移行を避けるため高血糖の高リスク者へ受診勧奨と保健指導を行う

④ 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施

健康教育等のポピュレーションアプローチ及び元気づくり会における健康増進・介護予防対策の実施や支援

発行年月：令和6年3月

発行：伊達市

編集：伊達市 健康福祉部 国保年金課

住所：〒960-0692

福島県伊達市保原町字舟橋180番地

電話：024-575-1198

FAX：024-576-7199

E-mail：kokuho@city.fukushima-date.lg.jp

URL：https://www.city.fukushima-date.lg.jp/